



追悼特別展高倉健
RETROSPECTIVE 高倉 健

KEN TAKAKURA

高梁市成羽美術館
NARIWAMUSEUM

2018.7.27-9.24

FRI MON

主催 | 高梁市成羽美術館、毎日新聞社

共催 | 山陽新聞社、RSK山陽放送

後援 | 岡山県、高梁市教育委員会、公益社団法人岡山県文化連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、

読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、TSCテレビせとうち、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、

RNC西日本放送、(株)吉備ケーブルテレビ、FM岡山、FMくらしき、レディオモモ、エフエムふくやま

特別協力 | 高倉プロモーション 協力 | 一般社団法人日本映画製作者連盟 特別協賛 | 健康家族

休館日 | 毎週月曜日(ただし9/17・9/24は開館し、翌日休館)

開館時間 | 9:30~17:00(入館は16:30まで)

入館料 | 一般・シニア 1,000円 高・大生 800円 小・中生 500円

(団体20名以上は2割引) ※高梁市内在住の小中学生入館無料



1

任 俳優で一時代を築き、数多くの名作や話題作に出演し、晩年は最も出演が待ち望まれる俳優として、生涯で205本の映画に出演した高倉健。多くのファン、スタッフや役者仲間からも慕われたこの名優が世を去ったのは、2014年11月10日のことでした。

本展は、貴重な映像と資料をもとに、高倉健の映画俳優としての仕事を回顧し、あらためてその業績を顕彰しようとするものです。横尾忠則、森山大道による、高倉健をモチーフとした作品で幕を開ける本展の最大の見どころは、出演作205本のすべてから抜粋した、高倉健の出演場面映像の紹介です。

残されたフィルムには経年劣化により現在見ることの困難な作品もありましたが、フィルムをデジタル修復するなどして、その一部をご覧いただくことが可能になりました。1本1本の抜粋時間は限られていますが、時代ごとの高倉健の魅力を存分に味わい、映画俳優としての全仕事を概観する絶好の機会となります。

あわせて、高倉健が所蔵していた台本や小道具、スチール写真、ポスターやプレスシートといった宣伝物など、貴重な資料類を一堂に展示し、時代とともに歩んだ稀代の映画俳優の足跡をたどります。展示された膨大な映像や資料の中をめぐらうちに、高倉健という俳優の存在が立ち現れて来るのを感じていただけることでしょう。



7



8



9



2



3



4

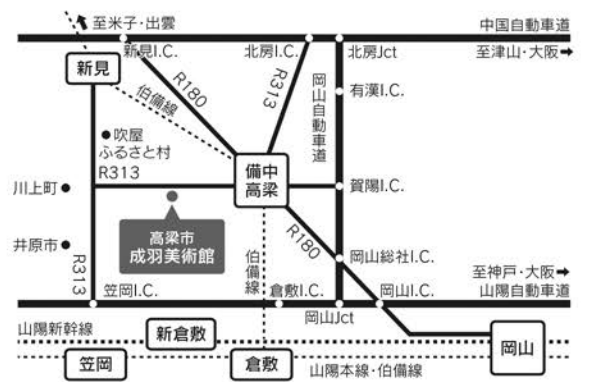


5



6

1. 「鉄道員 (ぼっぼや)」1999 ©東映
2. 初主演作「電光空手打ち」の台本 1956 ©東映
3. 「幸福の黄色いハンカチ」ポスター ©1977 松竹株式会社
4. 「ごろつき無宿」ポスター 1971 ©東映
5. 横尾忠則「JAPAN SOCIETY PRESENTS: KEN TAKAKURA」ポスター 1978
6. 「昭和残侠伝 唐獅子牡丹」1966 ©東映
7. 「君よ憤怒の河を渉れ」1976 ©KADOKAWA 1976
8. 「夜叉」1985 ©東宝
9. 「あなたへ」2012 ©東宝



●JR岡山駅から伯備線(特急やくも)約35分、(普通)約50分、備中高梁駅下車。バスセンターから成羽方面への備北バス約20分、「成羽」停留所下車すぐ ●山陽自動車道 倉敷ICまたは笠岡ICから約50分 ●岡山自動車道 質陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分 ●中国自動車道 北房ICまたは新見ICから約50分 ●岡山空港から車で約60分



〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3
 TEL 0866-42-4455 FAX 0866-42-4451 <https://nariwa-museum.or.jp/>
 facebook.com/nariwamuseum @nariwamuseum